

事業番号	15 04 12	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	交流教育推進事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か 年計画	プロジェクト				課・室	特別支援教育課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S54 ~		

1 事業の概要

目指す姿	特別支援学校の児童生徒と幼保・小・中高等学校等の幼児児童生徒とが活動を共にし、「仲間意識を育む」「経験を広げる」等により、社会性や豊かな人間性を育むことを目指す。
------	---

現状 (予算編成時)	○「共生社会」の実現にむけて、インクルーシブ教育システムの構築が社会的課題となっている。 ○「交流及び共同学習」の推進は、障がいのある子どもと障がいのない子ども双方が理解し合う教育の場としてその重要性が高まっている。 ○交流の移動手段として活用しているスクールバスには台数や回数制限があり、それ以外の交通手段の確保に苦慮している状況がある。
---------------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 検討中	【左記の説明、根拠法令等】 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領 特別支援学校学習指導要領
----------	-------------------------------	--

成果目標・ 事業内容	① 成果目標 (H27)				
	○特別支援学校の児童生徒と幼小中高等学校等の交流を行い共生社会の実現につなげる。 交流の目標総数 延べ回数1,950回				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27実施内容	H26 (当初)	H27 (要求) (予算案)
	交流教育提携校との交流	直接	・各特別支援学校と幼・保・小中高等学校で交流提携を結び、継続的・計画的な交流を実施 活動例) 同学年児童との遠足、文化祭への参加、調理活動、スキー教室、レクリエーション等	1,195	1,359 1,359
提携校以外の相手先との交流	直接	・提携校以外の学校との交流(居住地校交流等) 同学年の通常の学級や特別支援学級での学習参加・交流 ・地域との交流の実施(地域の諸団体との交流) 季節行事への招待や参加(七夕会、お月見踊り、焼き芋、地域のお祭り等)			
地域ボランティアの活用	直接	・交流提携校との交流及び共同学習での地域ボランティアの活用 地域ボランティアの活用により、交流提携校との交流及び共同学習の充実を図る(1校当たり9人のボランティア)。	216	49 49	
合計			1,411	1,408 1,408	

事業 コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況					
	前年度繰越						項目	H26末 (見込)	H27		H28 目標	
	当初予算	1,599	1,633	1,411	1,408	1,408			目標	成果		達成状況
	補正予算						交流及び共同学習 の延べ回数	1,900	1,950			
	合計(A)	1,599	1,633	1,411	1,408	1,408						
	一般財源	1,599	1,633	1,411	1,408	1,408						
	Aの財源											
	県債											
	国庫支出金											
	その他	0	0	0	0	0						
決算額(B)	1,126	1,092										
概算職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10							
概算人件費	826	826	826	826	826							
概算事業費(B(A)+C)	1,952	1,918	2,237	2,234	2,234							

指摘事項等への対応 <input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善	(指摘事項等)	(対応)
--	---------	------

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------